

サロンコンサートvol.265

山武市自主文化事業

村田千紘トリオ JAZZ ライヴ

透明感のある音色で、
名曲がやさしくほどけるジャズの夜



平田晃一
ギター



若井俊也
コントラバス

演奏予定曲

But not for me

My funny valentine ほか

※曲目は都合により変更になる場合がございます

2026年 **6月19日** (金) 19:00開演 (18:30開場)

山武市成東文化会館のぎくプラザ ホール

入場料 1,500円 全席自由

お問合せ 山武市教育委員会生涯学習課 文化会館 (〒289-1324千葉県山武市殿台290-1)

☎0475-82-5222 e-mail n-bunka@city.sammu.lg.jp

<https://www.city.sammu.lg.jp/kyouiku/bunka-shisetsu/bunkakaikan/>





村田千紘 (Chihiro Murata) – trumpet

東京生まれ。幼少よりピアノを学び、小学校ではブラスバンドでフレンチホルンを担当。中学の吹奏楽部でトランペットに転向し、全国大会のコンテストにて優秀賞を受賞するなど、早くから頭角を現す。

早稲田大学入学と同時に同大学の音楽サークルに所属し、ジャズに本格的に傾倒。卒業後、トランペットを牧原正洋氏に、ジャズ理論を土岐英史氏に師事し、都内ライブハウスを中心に演奏活動を開始する。

自身のカルテットを軸に活動するほか、タモリ主催のヨットレース「タモリカップ」をきっかけに結成されたバンド「マリンセレーズ」ではリーダーを務める。

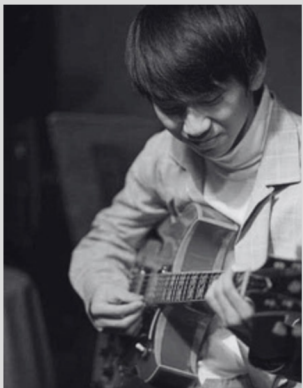
2015年12月、デビューアルバム『PASSION』をリリース。2016年には目黒ブルースアレイジャパンにてマンスリーライブを開催。六本木アルフィーをはじめとする老舗ジャズクラブで定期的にリーダーライブを行う。

2017年、ピアニスト田中菜緒子とのユニット「村田中」を結成し、アルバム『Selfie』を発表。全国的な支持を集め、2019年にはキング・レコードよりメジャーデビュー作『SCHOOL OF JAZZ』をリリース。

2020年より、歌手MISIAのバンドメンバーとして全国ツアーに参加。

2021年にはリーダー・カルテットによるアルバム『'Tis Love』をセルフプロデュースで発表し、丸の内コットンクラブにて発売記念ライブを開催。

2025年、自主レーベル第2作となる『In the Mood for Chet』をリリース。



平田晃一 (Koichi Hirata) – guitar

2002年7月26日、北海道札幌市生まれ。

小学生よりギターを始め、12歳でジャズに傾倒する。

高校時代から札幌でライブ活動を開始。大学進学を機に上京し、東京大学在学中より都内近郊のジャズクラブを中心に演奏活動を展開している。

ウェス・モンゴメリー、グラント・グリーン、ケニー・バレル、ジョー・パスら正統派ジャズ・ジャイアンツを敬愛。その伝統に根差したプレイは、若手ながらすでに高い完成度を誇ると評価されている。

2024年、自身初となるアルバムを人気ライブ録音シリーズ『Live at alfie』よりリリース。石田衛 (pf)、吉田豊 (b)、柳沼佑育 (ds) との気心知れたメンバーによる、臨場感あふれるリアルなジャズを収録している。



若井俊也 (Shunya Wakai) – contrabass

愛知県名古屋市出身。洗足学園音楽大学非常勤講師。

3歳よりヤマハ音楽教室に通い、クラシックピアノおよび作曲を学ぶ。明治大学入学と同時にコントラバスを始め、翌年大学を中退し、本格的に演奏活動を開始。

2013年、マイルス・デイヴィスのバンドに在籍した唯一の日本人であるケイ赤城のトリオに加入。レギュラーメンバーとして国内外の主要ステージに出演し、アメリカでのレコーディング作品2作に参加。

現代ジャズシーンを支える存在として、ケイ赤城トリオ、ユキ・アリマサトリオ、渡辺翔太トリオ、竹内直カルテット、原大カカルテット、井上銘グループ、村田千紘カルテットなど多数のバンドやセッションに参加。都内を拠点に全国各地で活動している。